

# 関西大学における 内部質保証システム体制と 教育の充実に向けた取り組み

関西大学 副学長／政策創造学部 教授  
小西 秀樹

## I Introduction

(学校法人関西大学の紹介・教学の意思決定システム)

## II 本学の内部質保証システムについて

## III 教育の充実に向けた取り組みについて

## 千里山キャンパス

法学部／文学部／経済学部／商学部／社会学部／政策創造学部／外国語学部  
／システム理工学部／環境都市工学部／化学生命工学部

法学研究科／文学研究科／経済学研究科／商学研究科／社会学研究科／理工学研究科  
／外国語教育学研究科／心理学研究科／東アジア文化研究科／ガバナンス研究科

法科大学院／会計専門職大学院

関西大学第一高等学校・第一中学校／関西大学幼稚園

## 高槻キャンパス

総合情報学部／総合情報学研究科

## 高槻ミューズキャンパス

社会安全学部／社会安全研究科  
関西大学初等部・中等部・高等部

## 堺キャンパス

人間健康学部／人間健康研究科

## 吹田みらいキャンパス

ビジネスデータサイエンス学部

## 北陽キャンパス

関西大学北陽高等学校・中学校

## 梅田キャンパス

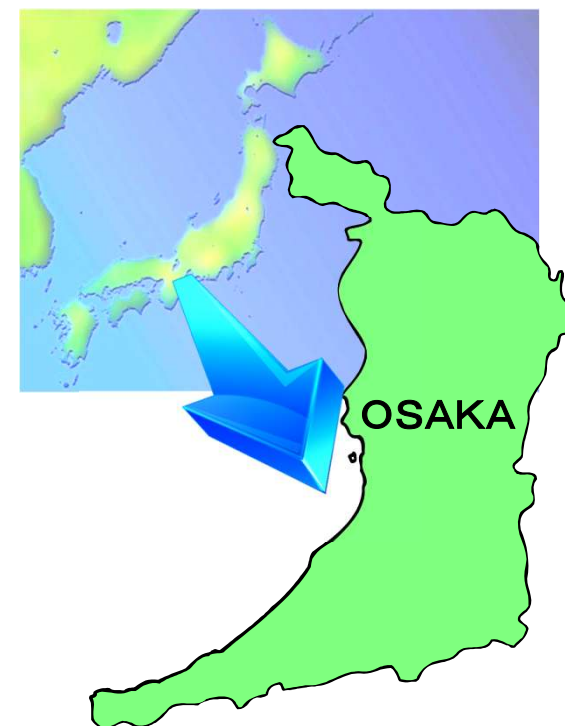
## 南千里国際プラザ

留学生別科(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)

## 東京センター

## 海外拠点

欧州センター、上海オフィス、バンコクオフィス、  
台湾オフィス、北京オフィス、  
ベトナム連絡事務所、中国連絡事務所



KANSAI UNIVERSITY

## 学部数等

**学部:14 研究科:13 専門職大学院:2 留学生別科:1**  
**併設校:高等学校3 中学校3 小学校1 幼稚園1**

## 学生数

**学部学生28,492人(うち留学生614人)**  
**大学院学生1,799人(うち留学生483人)**  
**専門職大学院学生248人(うち留学生10人)**  
**併設校生徒等4,798人**

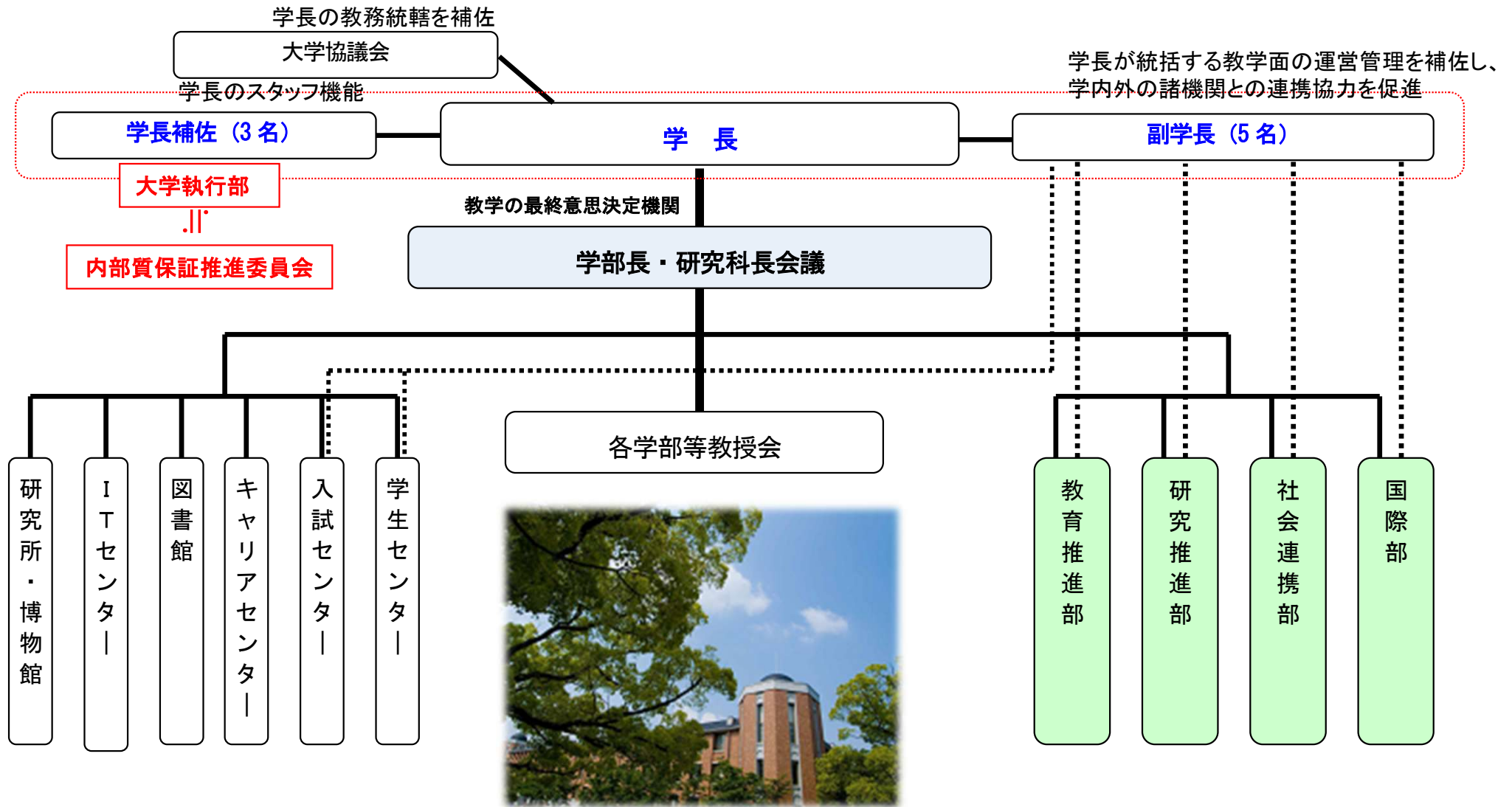
## 教職員数

**大学専任教員754人 併設校教員246人**  
**事務職員497人**

※2025年5月1日現在の人数



# I Introduction 教学の意思決定システムについて



## Ⅱ 内部質保証システムの充実(内部質保証の方針)

2017年2月15日

2025年4月1日(改正)

### 内部質保証の方針

#### 1 方針

社会の多様化が進む中、高等教育機関として社会の負託に応えるため、関西大学の教育、研究、社会貢献について、学是「学の実化」や教育研究上の目的等を念頭に置き、質の向上を図るとともに、適切な水準にあることを自らの責任で明示する内部質保証の取組を恒常的に推進する。

#### 2 責任・役割

(1) 学部・研究科・その他部局(\*1)の内部質保証は、当該構成員が自覚と責任ある行動に基づいて行う。組織的には、運営責任を負う組織(\*2)が主体となり、当該執行部(\*3)またはそれに準ずる役割を担う者と構成員が連携・協力して厳正に推進する。

(2) 全学的な内部質保証は、学長の責任の下、内部質保証推進委員会が主体となり、大学執行部(\*4)とすべての構成員が連携・協力し、総体として厳正に推進する。

(3) (1) 及び (2) にかかわらず、内部質保証を推進するため、組織間の連携・協力を適時適切に行う。具体的には、主に次の枠組みを活用する(別紙①参照)。

ア 学部長・研究科長会議：教学における全学的意思決定機関

イ 教育推進部・研究推進部・社会連携部・国際部：担当副学長の下、所管する専門的事項について全学的観点から推進する機関

ウ 内部質保証推進委員会：内部質保証のプロセスを有効に機能させる上での中心的役割を担う委員会組織

エ IR 推進委員会：教学上の計画立案や意思決定等に資するデータを組織的に収集・分析する委員会組織

オ 自己点検・評価委員会：内部質保証において検証を行い、改善もしくは計画につなげる役割を担う機関

#### 3 手続・運用

(1) 学部・研究科・その他部局及び全学的な内部質保証は、いずれも別紙①の枠組みを基軸としつつ、柔軟に推進する。

(2) 内部質保証システムについて、定期的に検証・改善を行う。

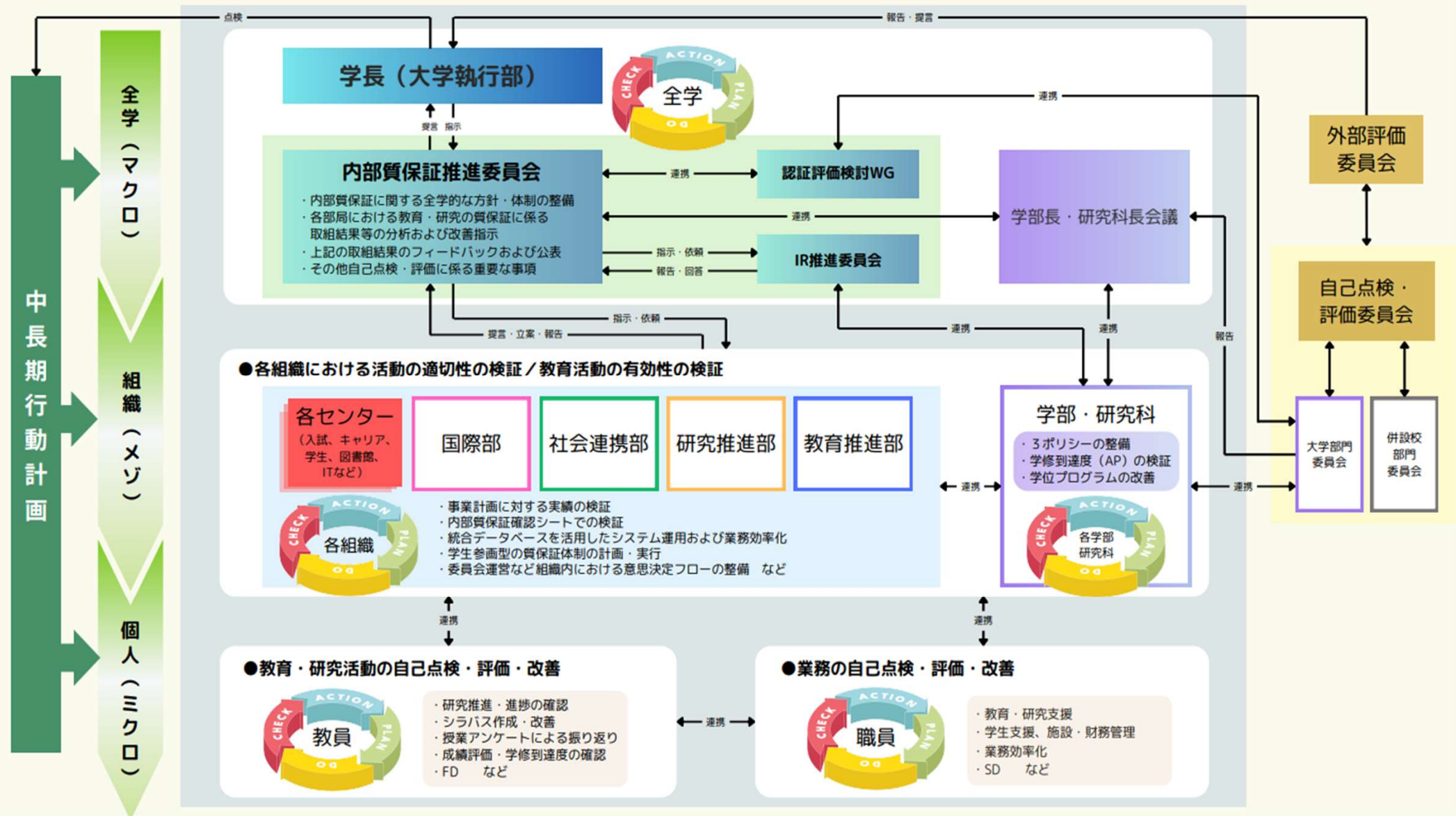
以上



KANSAI UNIVERSITY

## Ⅱ 内部質保証システムの充実(内部質保証の方針)

### 関西大学における内部質保証体制図 (2025年4月1日～)



## Ⅱ 内部質保証システムの充実(内部質保証推進委員会)

### ○内部質保証推進委員会規程

2025 年 3 月 6 日

制定

(設置)

第1条 関西大学(以下「本学」という。)に内部質保証推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 委員会は、社会の多様化が進む中、本学が高等教育機関として社会の負託に応えるため、教育、研究、社会貢献について、学是「学の実化」や教育研究上の目的等を念頭に置き、質の向上を図るとともに、適切な水準にあることを自らの責任で明示する内部質保証のプロセスを円滑かつ恒常的に推進することを目的とする。

(任務)

第3条 委員会は、前条に規定する目的を達成するため、次の事項を任務とする。

- (1) 内部質保証に関する全学的な方針・体制の整備及び改善指示に関すること。
- (2) 各部局における教育・研究の質保証に係る取組結果等の分析に関すること。
- (3) 前号の取組結果等のフィードバック及び公表に関すること。
- (4) その他自己点検・評価に係る重要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学長補佐
- (4) 大学本部長
- (5) 学長室長

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。

3 委員長は学長とし、副委員長は副学長(教育推進担当)とする。

4 委員長が必要と認めたときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

5 構成員の任期は、役職在任中とする。

(IR推進委員会)

第5条 委員会の業務を円滑に遂行するため、委員会の下に IR 推進委員会を置く。

2 IR 推進委員会の設置、構成等に係る事項については、別に定める。

(ワーキンググループ)

第6条 委員会の業務を遂行するため、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学長課が行う。

附 則

この規程は、2025年4月1日から施行する。



KANSAI UNIVERSITY

### ○ 内部質保証推進委員会 構成員

(1) 学長(委員長)

(2) 副学長

(3) 学長補佐

(4) 大学本部長

(5) 学長室長

## Ⅱ 内部質保証システムの充実(IR推進委員会)

### ○IR推進委員会規程

2025年3月6日

制定

(趣旨)

第1条 この規程は、内部質保証推進委員会規程第5条の規定に基づき、IR推進委員会（以下「委員会」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 委員会は、関西大学（以下「本学」という。）が、教学上の計画立案、意思決定等に資するデータを組織的に収集・分析して学生の成長、内部質保証等に活用し、教育の質的向上を図ることを主たる目的とする。

(任務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の任務を行う。

- (1) 教学上のデータ収集・分析に関する事項
- (2) 学修成果の可視化に関する事項
- (3) 全学的な学生調査の設計・実施に関する事項
- (4) 学部・研究科等への情報提供に関する事項
- (5) 内部質保証推進委員会からの諮問に関する事項
- (6) その他委員会の目的達成のために必要な事項

(構成員)

第4条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 副学長（教育推進担当）
- (2) 学長補佐のうち1名
- (3) 教育推進部所属教育職員 若干名
- (4) 学事局長
- (5) 学事局所属事務職員 若干名
- (6) その他委員長が必要と認めた者 若干名

2 委員長は前項第1号の構成員をもって充て、副委員長は同項第2号及び第3号の構成員から、それぞれ1名をもって充てる。

3 第1項第3号、第5号及び第6号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 構成員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、その任期は、前任者の残任期間とする。

第5条 委員会は、必要に応じて作業部会を置くことができる。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、授業支援グループ教学IR室が行う。

附 則

この規程は、2025年4月1日から施行する。



KANSAI UNIVERSITY

### ○ IR推進委員会 構成員

- (1) 副学長(教育推進担当) (委員長)
- (2) 学長補佐のうち1名
- (3) 教育推進部所属教育職員 若干名
- (4) 学事局長
- (5) 学事局所属事務職員 若干名
- (6) その他委員長が必要と認めた者 若干名

## Ⅱ 内部質保証システムの充実(認証評価検討ワーキンググループ)

### ○認証評価検討ワーキンググループ要項

2024年10月11日

制定

内部質保証推進委員会規程第6条の規定に基づき、認証評価検討ワーキンググループ(以下「ワーキング」という。)を次のとおり設置する。

#### 1 任 務

大学基準協会の機関別認証評価における大学基準単位ごとの報告書等の作成・精査及び各種受審に係る事項の検討を行う。

#### 2 期 間

座長が招集した時から機関別認証評価受審年度末までとする。

#### 3 構成員

- (1) 副学長(自己点検・評価担当)(座長)
- (2) 学長補佐(自己点検・評価担当)(副座長)
- (3) 学校法人関西大学自己点検・評価委員会 大学部門委員会委員 若干名
- (4) 大学基準協会の評価委員経験者 若干名
- (5) 大学本部長
- (6) 総合企画室長
- (7) 学長室長
- (8) その他座長が必要と認めた者

#### 4 事務局

企画管理課及び学長課が担う。

以 上



KANSAI UNIVERSITY

### ○ 認証評価検討ワーキンググループ 構成員

- (1) 副学長(自己点検・評価担当)(座長)
- (2) 学長補佐(自己点検・評価担当)(副座長)
- (3) 大学部門委員会委員 若干名
- (4) 大学基準協会の評価委員経験者 若干名
- (5) 大学本部長
- (6) 総合企画室長
- (7) 学長室長
- (8) その他座長が必要と認めた者

## Ⅱ 内部質保証システムの充実(委員会において課題整理(一例))

| 基準 | 評価項目                                 | 評価の視点                                 | 取組状況 ※                                                                                                                |
|----|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | ◇学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。 | 着手<br>教育の質保証、教学マネジメントの実質化へつなげるためにアセスメントプランを全学的に導入すべく2023年7月の学部長・研究科長会議で各学部・研究科に依頼。<br>2024年4月に本学ホームページにてアセスメントプランを公表。 |

※取組状況は2025年9月30日現在のものである。

(2023年7月5日開催の学部長・研究科長の際に周知した資料を基に作成)



## Ⅱ 内部質保証システムの充実（委員会において課題整理（一例））

| 基準 | 評価項目                                               | 評価の視点                                         | 取組状況※                                                                                                     |
|----|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | ◇教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高める工夫を行っているか。 | <u>着手</u><br>現在検討を進めている「質保証における学生参画」の一環として、自己点検・評価機能を高める上で効果的であると考え、2023年7月に卒業生調査を、2024年に学生インタビュー調査を実施した。 |

※取組状況は2025年9月30日現在のものである。

（2024年10月16日開催の学部長・研究科長の際に周知した資料を基に作成）



## Ⅱ 内部質保証システムの充実(改善・改革プロセス)

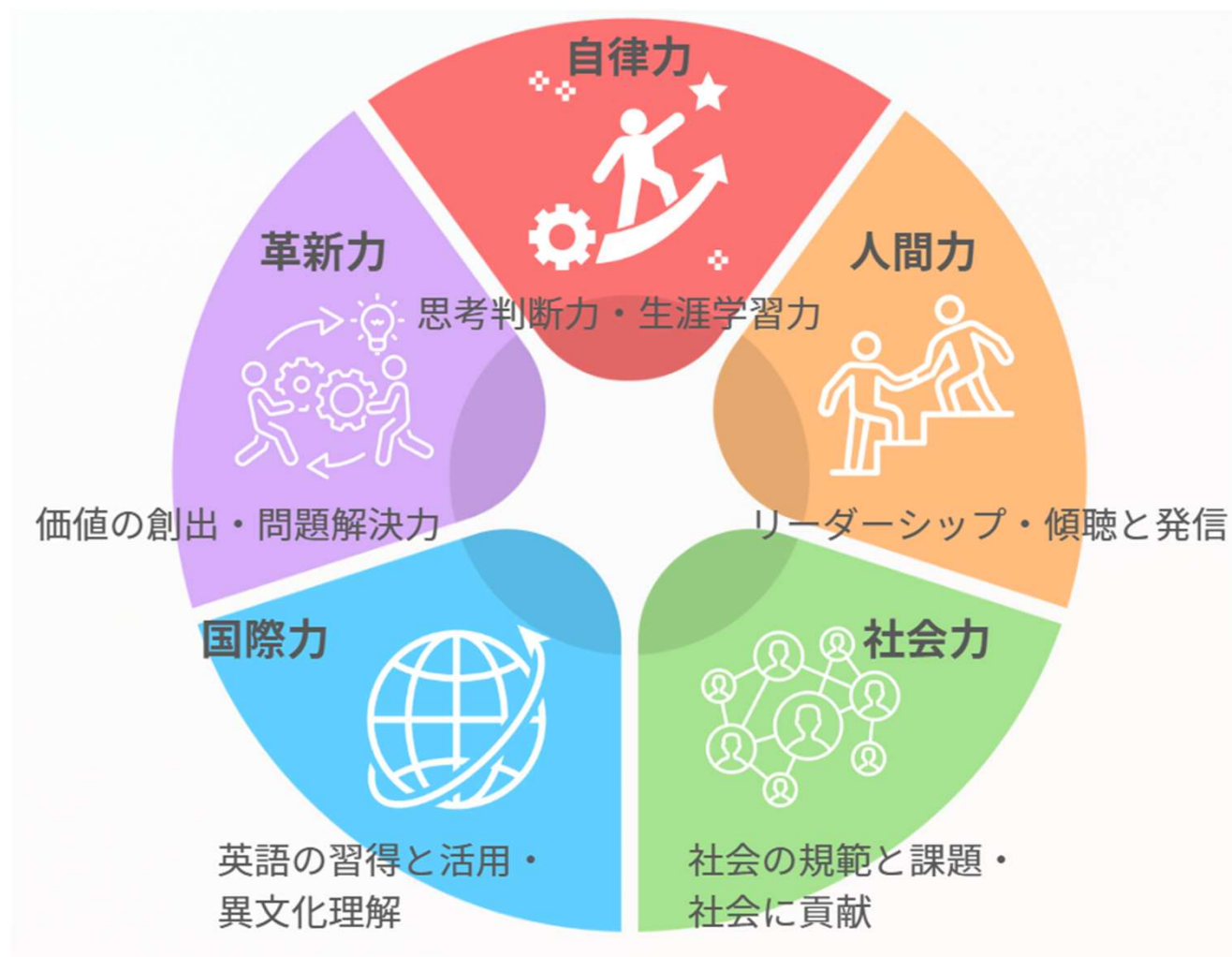
|           |                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 2019年 3 月 | 機関別認証評価受審サイクル等の見直し                                    |
| 5 月       | 大学院改革検討ワーキンググループ設置                                    |
| 6 月       | 大学IR検討ワーキンググループ設置<br>学校法人関西大学自己点検・評価委員会大学部門委員会の体制の見直し |
| 2020年 4 月 | 全学IR推進ワーキンググループ設置                                     |
| 5 月       | 大学院検討委員会設置                                            |
| 2023年 7 月 | 卒業生調査を実施                                              |
| 2024年 4 月 | アセスメントプランの公表                                          |
| 2024年10月  | 現学長就任(新大学執行部体制)<br>認証評価検討ワーキンググループ設置<br>学生インタビュー調査を実施 |
| 2025年 2 月 | 内部質保証推進体制の見直しを検討                                      |
| 4 月       | 新たな内部質保証推進体制への改組<br>(内部質保証推進プロジェクトから内部質保証推進委員会へ)      |



### Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

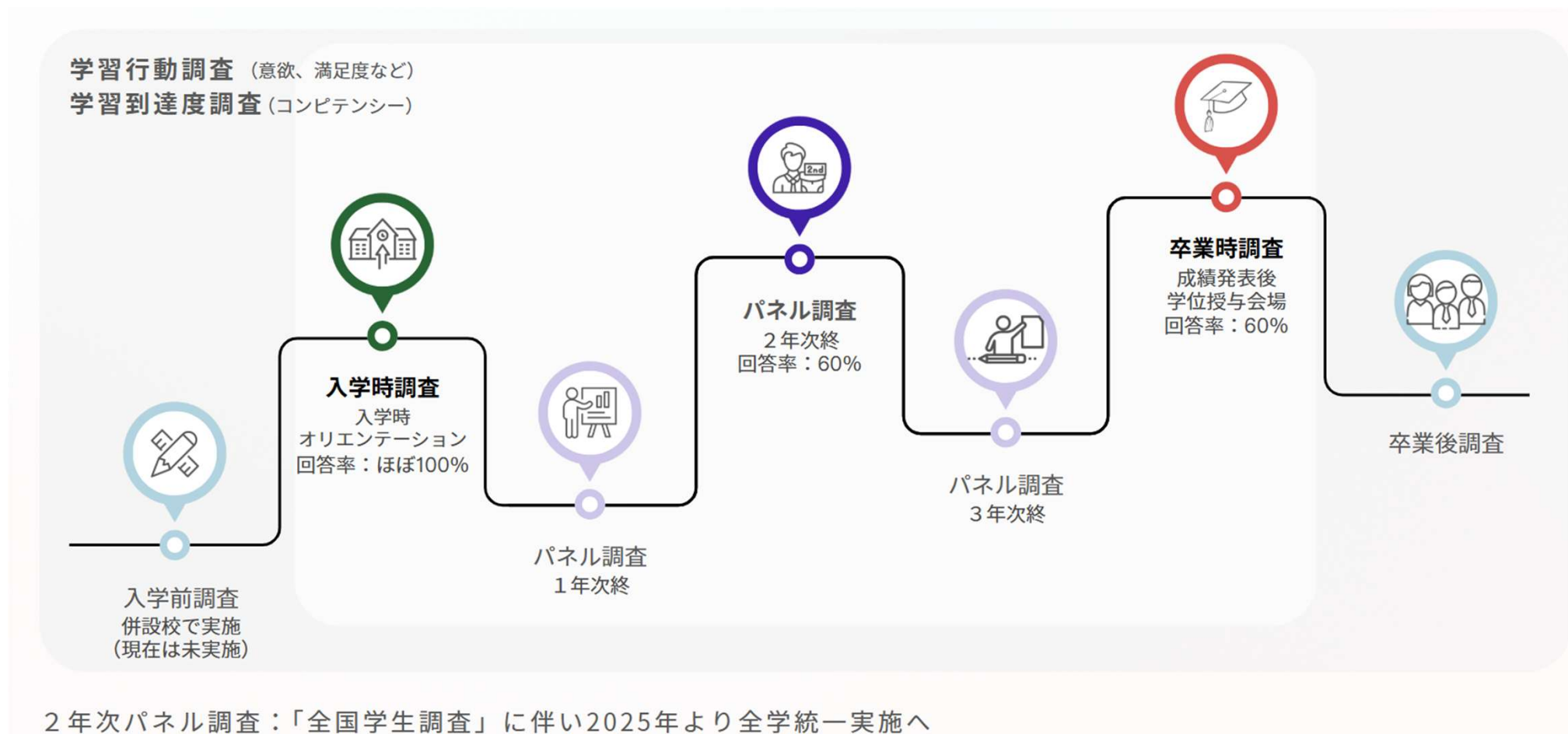
#### ・考動カコンピテンシー

自ら考え、行動し、社会を改革できる人材



### Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

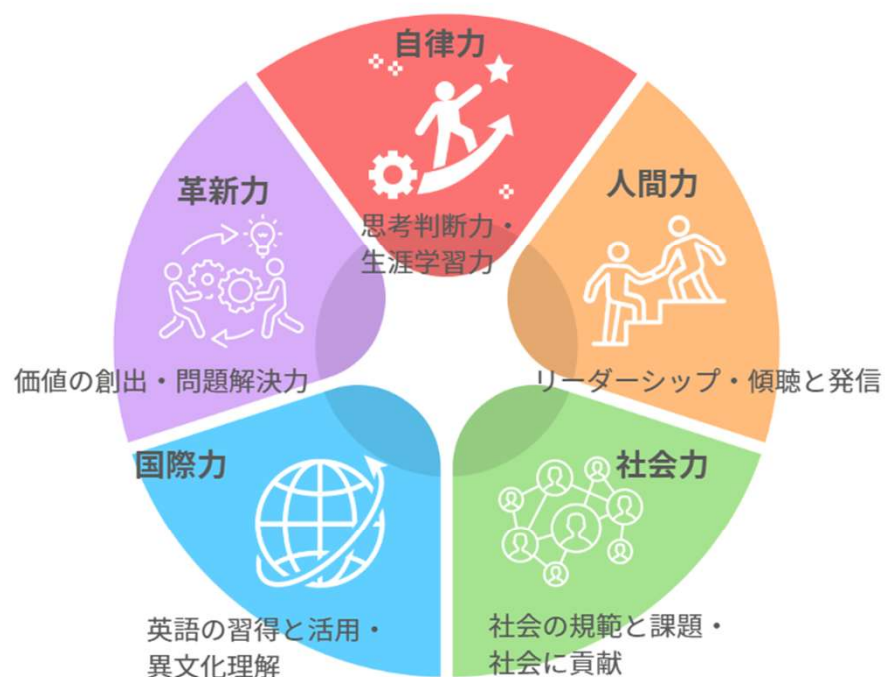
#### ・ 学生調査による考動力コンピテンシーの測定・可視化



### Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

#### ・学部等へ結果のフィードバック

入学時・パネル・卒業時調査の結果を各学部 教授会等へフィードバック



関西大学「考動カコンピテンシー」



- ・全学集計結果、各学部集計結果を各学部教授会等へフィードバック

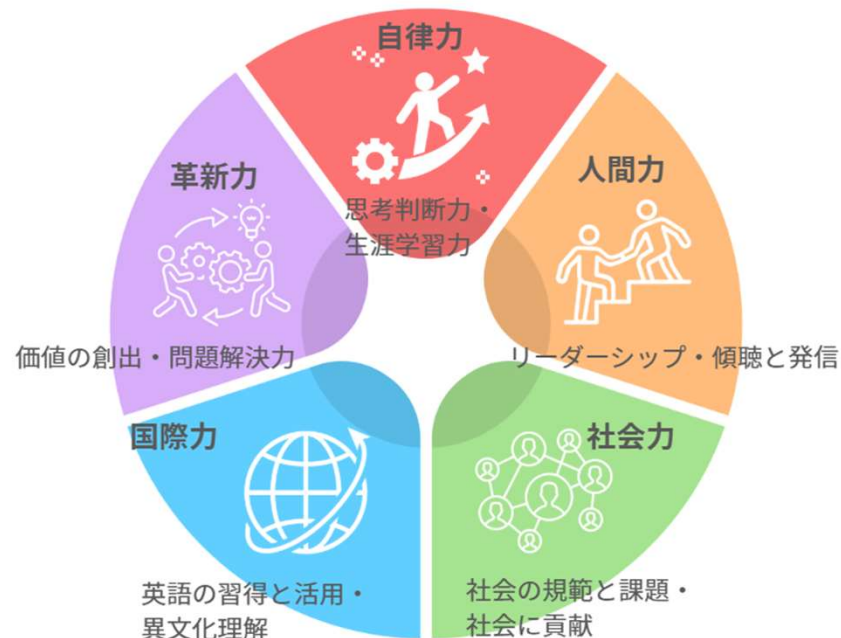


KANSAI UNIVERSITY

# Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

## ・ 学生個人へ結果のフィードバック

各調査を通じて測定した「考動カコンピテンシー」「リテラシー」を、  
学生個人にフィードバック



関西大学「考動カコンピテンシー」

### 学習の現状調査 フィードバックシート

これはあなたがこれまでに回答した「学習の現状調査」の項目を集計し、5つの力（考動カ）をまとめたものです。  
レーダーチャートには、あなたの回答と所属学部 averages を示しています。  
各能力を伸ばすには、図下のアドバイスを参考に、学内の様々な授業・イベントに参加してみましょう。

関西大学では、「考動カ」あふれる人材の育成に取り組んでいます。  
具体的には、「自律力/人間力/社会力/国際力/革新力」の5つの力を「考動カ」として定め、  
その育成に力を入れています。  
レーダーチャートとアドバイスを参考に、全ての力を伸ばしていきましょう。

数値目安（自己評価）：  
①まったく身につけていない、②あまり身につけていない、  
③やや身につけている、④とてもよく身につけている

|         |  |
|---------|--|
| 学 部     |  |
| 学 籍 番 号 |  |
| 氏 名     |  |



※未回答の調査の結果は、学部平均のみが表示されます。

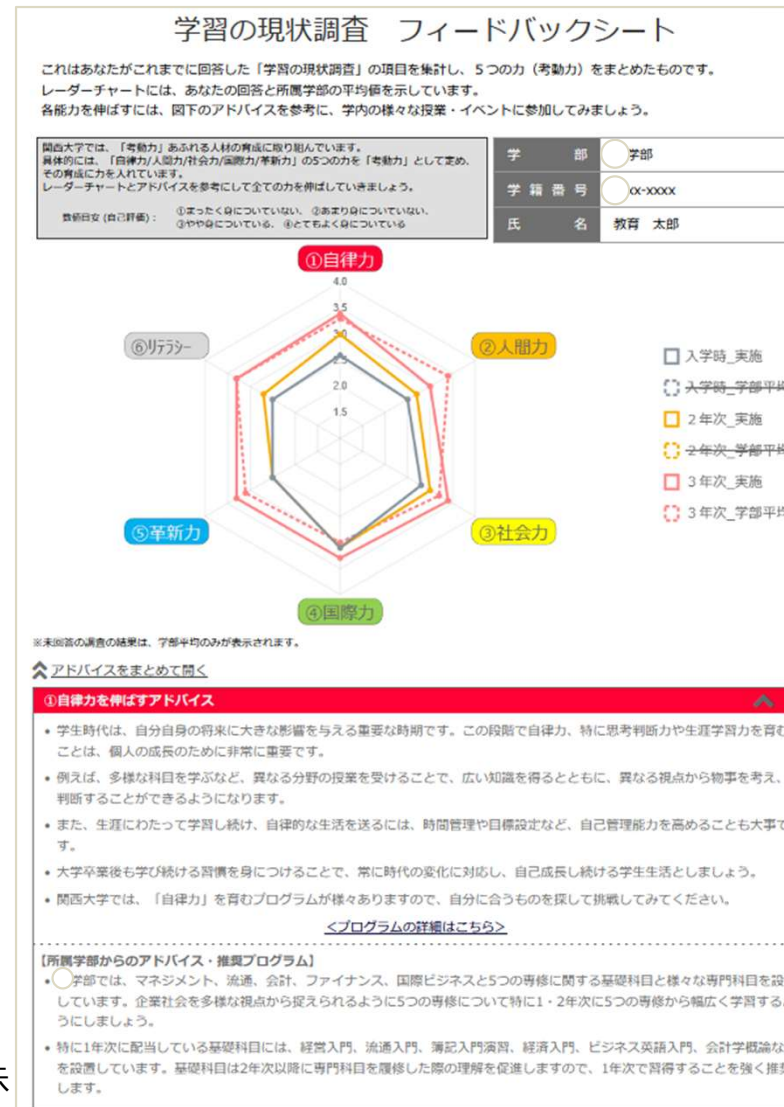
- ・ 学生ポータルサイトから考動カコンピテンシーとリテラシーをフィードバック
- ・ 各コンピテンシーを高めるためのアドバイスコメントを合わせて表示



KANSAI UNIVERSITY

# Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

## ・ 個人のスコアと全学・学部別コメントのフィードバック

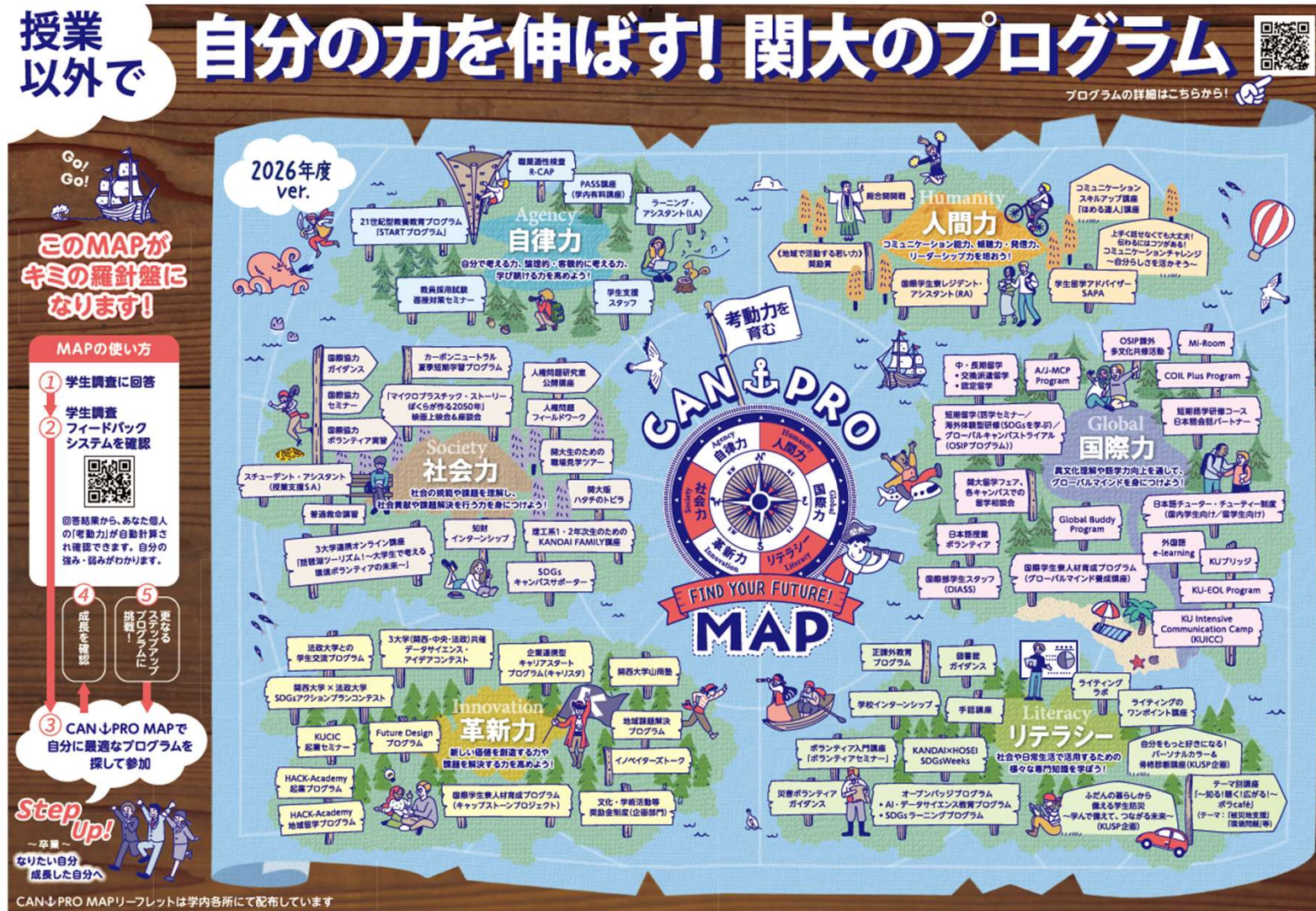


例：自律力のアドバイス  
 すべてのコンピテンシーに、大学と学部  
 （一部）からのアドバイスコメントを表示



KANSAI UNIVERSITY

・考動力を育む CAN  PRO MAP



### ・ DPに対応したアセスメントプランの公表

例：政策創造学部 政策学科

#### 学習成果の評価・改善の方針(アセスメントプラン)

##### ■ 政策学科

##### 1. DPに対応したアセスメントの方法・指標

【DP1】 各年次の修得単位数やGPA、各種資格のスコア、関大LMSの学修履歴等の直接指標と、入学時・パネル・卒業時調査等による間接指標とを組み合わせ、把握、視覚化、分析する。

【DP2】 入学時・パネル・卒業時調査等による「考動力」の獲得状況に加えて、地域活動の中核とするゼミ活動や課外活動に対して成果報告を求め、その成果を公表することで、客観的な教育成果を伴う活動を実施している。

【DP3】 国際化教育や課外活動の状況、ゼミ活動の状況、そして入学時・パネル・卒業時調査等を通じて、把握、分析する。

関西大学 3つのポリシー・アセスメントプラン

<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/outline/faculty.html>



KANSAI UNIVERSITY

### Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

#### ・何を用いて、どこで活用するか

#### 政策創造学部

#### 2.DPを含むアセスメント結果の活用

| 方法・指標             | 実施時期      | 対象年次       | 結果の活用                                                                  |
|-------------------|-----------|------------|------------------------------------------------------------------------|
| 入学時・卒業時調査         | 10月から1月の間 | 新入生<br>卒業生 | 教学IRプロジェクトの教授会でのフィードバックを受けて、教務打ち合わせにおいて議論・検討を行い、カリキュラム改善や学習環境の充実に活用する。 |
| 各種成績(単位修得状況、GPA等) | 6月        | 全学年        | 教務打ち合わせにおいて、学生の成績状況をもとに、カリキュラムや授業の改善、学習支援や履修指導などの充実に活用する。              |
| FD研究会(1)          | 各学期の修了時   | 全学年        | 非常勤講師を中心とした導入教育の内容を確認し、教務打ち合わせにおいて議論・検討を行う。                            |
| FD研究会(2)          | 各学期の修了時   | 全学年        | 成績分布の確認を通じた評価の適正さの確認を行い、教務打ち合わせにおいて議論・検討を行う。                           |



### Ⅲ 教育の充実にに向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

#### ・内部質保証確認シート

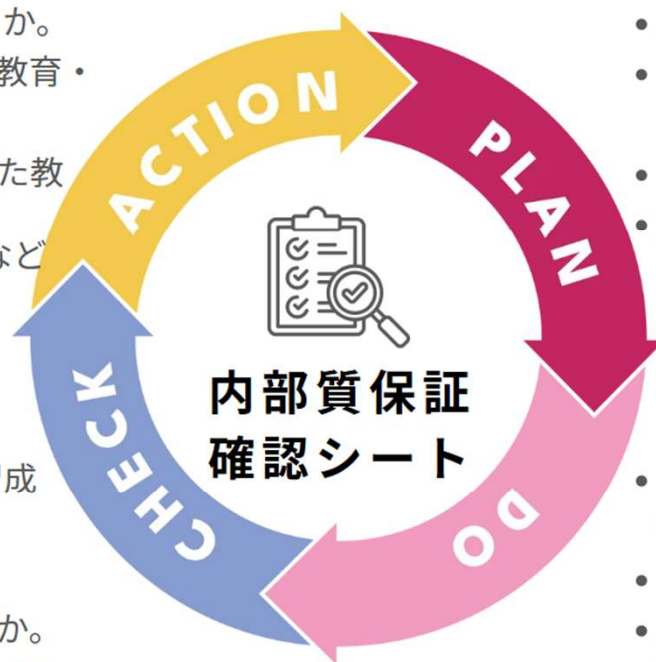
大学執行部と各学部・研究科とのコミュニケーションツール

- 組織的・多面的にFD活動に取り組んでいるか。
- アセスメントプランの評価結果をもとに、教育・学習環境等の改善を行っているか。
- 学部として現状および今後の質向上に向けた教育・学習上の課題を把握しているか。

など

- アセスメントプランに基づいて、DP・学習成果に関するアセスメントを行っているか。
- 具体的にどのように行ったのか。
- 遠隔授業の効果検証・質保証を行っているか。

など



- AP・CP・DPの点検・再検討を行っているか。
- カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー、ナンバリングの見直しを行っているか。
- シラバスの第三者チェックを行っているか。
- 遠隔授業をDPやCPに則して配置しているか。

など

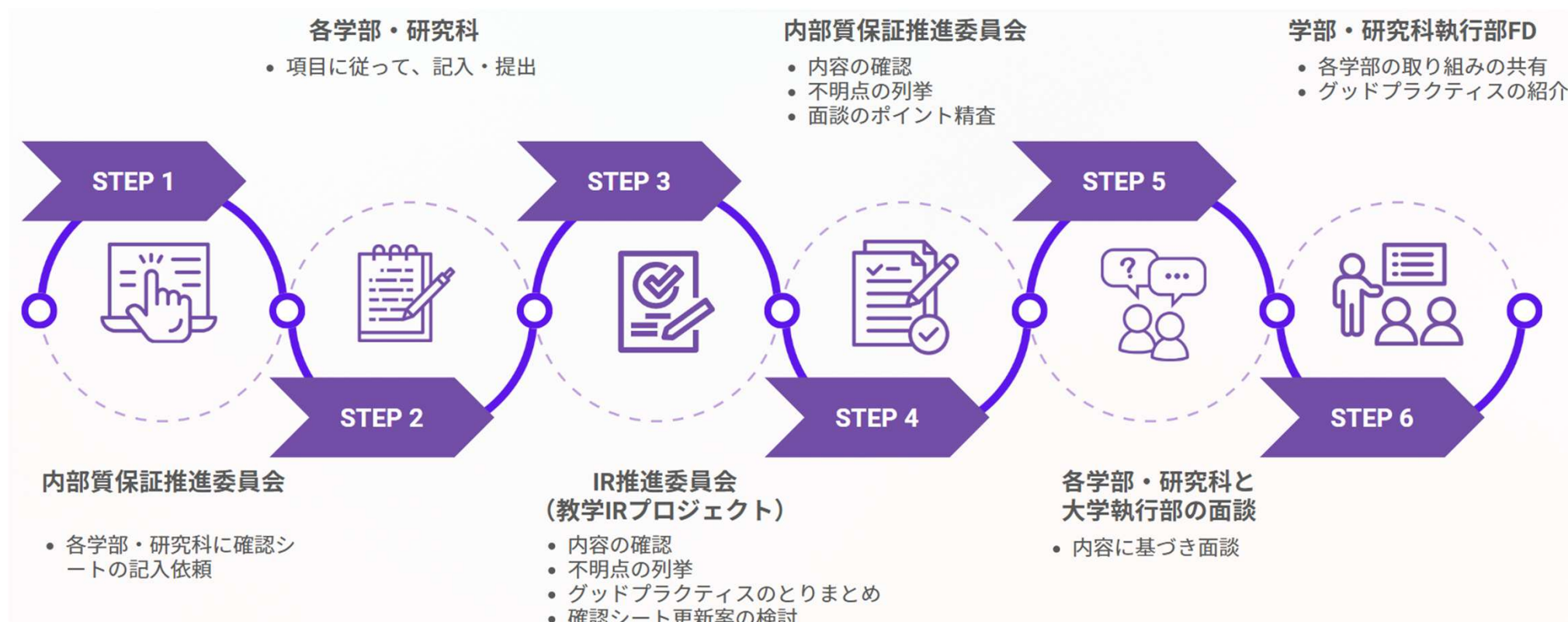
- 補習教育など、学生の主体的な学習を促進する学部独自の取組を行っているか。
- 多様な学生に対する修学支援を行っているか。
- 成績不振学生、退学希望者など、学習の継続に困難を抱える学生への対応を行っているか。

など



### Ⅲ 教育の充実に向けた取り組み(内部質保証を機能させるための工夫)

#### ・ 内部質保証確認シートの活用・学内展開



ご清聴ありがとうございました。